

大森映子ゼミ

ゼミ説明会資料 (2011.10.15)

・ テーマ —歴史に学ぶ—

・ 歴史系のゼミ

多摩大学の中では、ちょっとユニークなゼミです。

過去からのメッセージの中には、

大変ユニークで、驚くほど「新しい」ものがあります。

過去から現代を見なおしてみませんか？

大学で専門分野を学ぶことは当然であり、不可欠なことです。

しかし、少し違った視点から、あらためて専門分野を見なおしてみることも、実は大切なことです。一見、全く関係ないような歴史的事象も、その流れを整理してみると現代社会と深く結びついています。

ちょっとした疑問や興味を出発点として、大きな視野で時代の流れを見なおしていくと、現代社会の本質が見えてくる場合があります。

歴史学は、決して暗記する学問ではありません。過去の歴史的事象を吟味し、分析し、論理立てて考えていくものです。当たり前だと思っている自分自身の価値観を、客観的に見なおすチャンスかも知れません。

歴史を学ぶことは、経営や情報関係の分野とは無縁だと思われるかも知れません。しかし江戸時代の文化に現れた爆発的な「ブーム」にも、それなりの「投資家」がいたり、それらを巧みに操る「仕掛け人」がいたりします。そこには、人びとの好奇心や行動様式を冷静に分析する同時代人の視線がありました。また江戸時代の武士たちも、幕府という巨大な機構に組み込まれた一員であると同時に、大名の家もそれぞれの経営体として、相応に組織化され、秩序だった運営が不可欠でした。

そのような観点から過去を見なおすことも、大切なのではないのでしょうか。

取り組み方次第で、暗記だけでない「歴史」の面白さと奥深さが味わえると思います。

ちょっと異色のゼミですが、少し遠回りをしてみませんか。

小さな「疑問」を出発点としながら、

「現代」を考える新たな視点を見出していきましょう。

ゼミの進め方は、各自の関心に基づいてテーマを設定し、成果報告や討論を繰り返しながら歴史的考察を深めていきます。また、場合によっては、テキストを決め、輪読を通してお互いの意見交換をすることも考えています。

(最近取り扱ったテーマは、「江戸時代のエコライフ」「来日外国人が見た日本」「見なおしてみよう、日本の技術」「世界遺産に学ぶ」などです。)

また、希望があれば、博物館や美術館、史跡などの見学も積極的に取り込んでいく予定です。ちょっと意識しながら改めて見学に行くと、これまで何気なく見過ごしてしまっていたことでも、意外な側面に気づかされることがあります。

体験してみませんか？

(ちなみに、これまでの見学先は、京都、奈良、箱根などです。)

<小さな疑問の一例>

- * 「お城」とはもともと天守閣があったのだろうか？
- * 地震に強い伝統的建造物とは何か？
- * 江戸時代の人びとが使っていた暦とは、どんなものだろうか？
- * 甲子園はなぜ「甲子園」というのか？
- * 江戸時代は情報伝達にどのくらい時間がかかったのか？
- * 「鎖国」の時代にはどのくらい海外情報が入っていたのか？
- * 江戸時代の災害対策はどうだったのか？
- * 江戸の起業家には、どんなものがあつたのか？ ……

・ゼミ希望者については、10月31日(月)の昼休み、または5時限目に簡単な面接を行う予定です。詳細については、追って連絡しますので事務室で確認してください。

